

一般質問通告書 3月議会

平成30年3月7日～16日

番号	件名	氏名
1	上盛山への連携遊歩道整備について	山村 泰志
2	祝島小学校の再開校について	清水 敏保
3	上関原発とこれからの町づくり	山根 善夫
4	祝島―柳井港航路について	山戸 孝
5	買い物弱者への対応について	山戸 孝

5件 4人

定例会一般質問通告書

平成30年第1回上関町議会定例会（3月）

◆質問者1 山村 泰志	
質問事項	質問要旨
1. 上盛山への連携遊歩道整備について	<p>観光振興の一環として、道の駅から城山を經由し上盛山への観光歴史ウオーキングロードの必要性を痛感しており、平成28年3月議会でも関連遊歩道整備についての一般質問をしている。</p> <p>そのときの町長答弁は“自然を生かし、経費を掛けない歴史散策道として点検調査して上でどのように活用するか協議したい”と答弁している。</p> <p>その後の協議状況を伺う。併せて関連する東山展望台（六人塚）周辺の整備も必要と思うが、町長の考えは。</p>
◆質問者2 清水 敏保	
質問事項	質問要旨
祝島小学校の再開校について	<p>①通学について</p> <p>祝島小学校が休校中で、小学1年生が6時45分発の定期船に30分も乗り、一人で上関小学校に通うとなると体力的、精神的に負担がかかり大変なことだと思う。12月議会での質問で、通学について最善の手当を考えていければと答弁していたが、どのような対策を考えているのか尋ねる。</p> <p>②祝島小学校の再開校について</p> <p>総合教育会議での議論や財政部局との協議がされていると思うが、現段階での方向性について尋ねる。</p> <p>③校舎の整備について祝島地区の皆様、入学予定の保護者の方々等の意見を伺いながら協議していきたいとのことでしたが、いつ頃話し合いが持たれるのか。島民の意見は祝島小学校が開校されることを願っている。早い時期に島に来て再開校について協議していただきたい。</p>

◆質問者3 山根善夫	
質問事項	質問要旨
1. 上関原発とこれからの町づくり	<p>①福島事故を経験する中で原発による地域振興はすでに過去のものではないかを感じる。</p> <p>今までの上関町は原発反対 VS 推進という構図でしたが、これからは原発から脱却した上関町として売り出し、新たな町づくりの道を進んで行く。その様な時期に来ているのではないかと思うが、町長はどのように考えているか伺う。</p> <p>②現在27年から31年までの5ヶ年第4次上関町総合計画を策しているが、その計画も後半になってきている。その施策の今現在の進み具合と成果はどうか。特にソフト事業部分で具体的にどのようなことがされ、どのような取組みが行われているのか伺う。</p>
◆質問者4 山戸孝	
質問事項	質問要旨
1. 祝島—柳井港航路について	<p>船着き場の変更に伴う祝島の新しい待合所の設計・建設、出入りロゲートの設置工事などが予算化され、浮き棧橋の利用開始による船着き場の移動にあたっては、当面の待合所や切符販売場所はどうか、といった声も島民のなかから聞こえてきている。県道工事に伴い室津の棧橋移転や待合所設計も来年度には予算化されている。それを踏まえ伺う。</p> <p>①祝島の新待合所のおおまかな青写真と付属の設備や施設等、またゲート設置工事も含めたタイムスケジュールについて</p> <p>②浮き棧橋と新待合所のそれぞれの利用開始時期に時間差があるのであれば、その間の対応について。</p> <p>③移転する室津の棧橋と待合所については、場所や時期、概要はどのような想定がされているか。</p>
2. 買い物弱者への対応について	<p>商店の減少や高齢化が進む現状で、地元商店が残っている地域や、上関の特産物センター・道の駅上関海峡も運営されて日常的な買い物もある程度カバーされていると思うが、高齢化が進み、買い物がしづらくなった、特に生鮮食品が手に入りづらいという声が多い。地域住民のみならず地元商店の運営者自身も高齢化しその後継者もいないとなると、車の運転ができず足腰が弱いため買い物がしづらい状況になってしまう買い物弱者がますます増えることが予想されます。</p>

	<p>買い物弱者への具体的な対応策として、</p> <ul style="list-style-type: none">①店を作る②店への移動手段を提供する③商品を届ける <p>の3つに分類され、単独ないし複合による対応が基本になります。</p> <p>すでになんらかの対策を検討、あるいは実施しているとは思いますが、先を見据えより具体的に動いて行く必要があると思うが、買い物弱者への現在の町の対応と、町長の考えを伺う。</p>
--	--